

第3回 地域振興官民協働委員会議事概要

日 時	平成 24 年 10 月 18 日（木） 13：30～17：00
会 場	佐渡市役所 第一会議室
出席者	松田祐樹、渡辺啓嗣、鈴木涼太郎、地多正光 大橋幸喜、計良孝晴、藤原淳、斉藤昌彦、中村長生
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ■地域活性化拠点形成事業をベースに肉付けについて ■学区位で地域を分けて地域の選定 ■多くの人を巻き込んでいくための拠点づくりとリーダー確認 ■官民協働委員会は少人数でもいいが、協働委員会と地域と情報を共有するネットワークづくり（地域振興官民協働委員会と地域リーダーとのパイプ作り） ■県内等への研修について
議事概要	<p>①資料説明</p> <p>②地域選定及び地域リーダーの確認</p> <p style="padding-left: 2em;">佐渡市全図に地域リーダー及び特徴ある地域の書き込み。 外海府や前浜がやはり厳しい状況にある。</p> <p style="padding-left: 2em;">新規の事業を興すにしても、どの地域にどの事業を展開した方が効率が良いのか、まずは地域を分類していく必要がある。</p> <p>A 生活の基盤や産業があり、人材や地域の人たちの意欲の高い地域 B 生活の基盤や産業があり、人材や地域の人たちの意欲の低い地域 C 生活の基盤や産業がなく、人材や地域の人たちの意欲の高い地域 D 生活の基盤や産業がなく、人材や地域の人たちの意欲の低い地域</p> <p style="padding-left: 2em;">A については、比較的力を入れなくても事業の展開が可能である。 地域振興としては B 及び C に力を注いでいくものとし、A を目指したい。</p> <p style="padding-left: 2em;">D については、地域振興につなげる以前の問題となっており、個人への支援（社会福祉）が適当と思われる。現状で地域振興の観点からは、支援が難しい。まったく別の対策が必要。その後、地域振興として何ができるか、検討していくことが望ましい。</p> <p>③事業の肉づけについて</p> <p style="padding-left: 2em;">事業の実施の成果をしっかりと持つため、地域の検証を中心に行ったため、具体的な肉付けまでは至らなかった。</p> <p style="padding-left: 2em;">委員会終了後、委員長及び副委員長と事業の肉付けを再度検討し、次回までに事業の課題や問題点を洗い出しておきたい。</p> <p style="padding-left: 2em;">その他、佐渡市での活動団体の補足も併せて行いたい。</p> <p>④県内研修について</p>

	<p>中越地震後の地域コミュニティの再生やコミュニティビジネスが継続している中越地方を中心に1泊2日位で研修したい。</p> <p>中越の団体とパイプを持っている人材を中心に効率よく回れるように工程を考えたい。</p> <p>⑤次回開催</p> <p>11/14(水) 18:30から赤泊徳和地区における意見交換会に参加し、地域の実情を把握するとともに、事業へ反映できるものについて検討する。</p>
<p>次回検討事項</p>	<p>地域活動支援員との意見交換を行い、地域の課題に即した事業が実施できるよう新規事業に修正を加える。</p> <p>地域活動の状況をまとめた地域の振興方針を定める。</p>